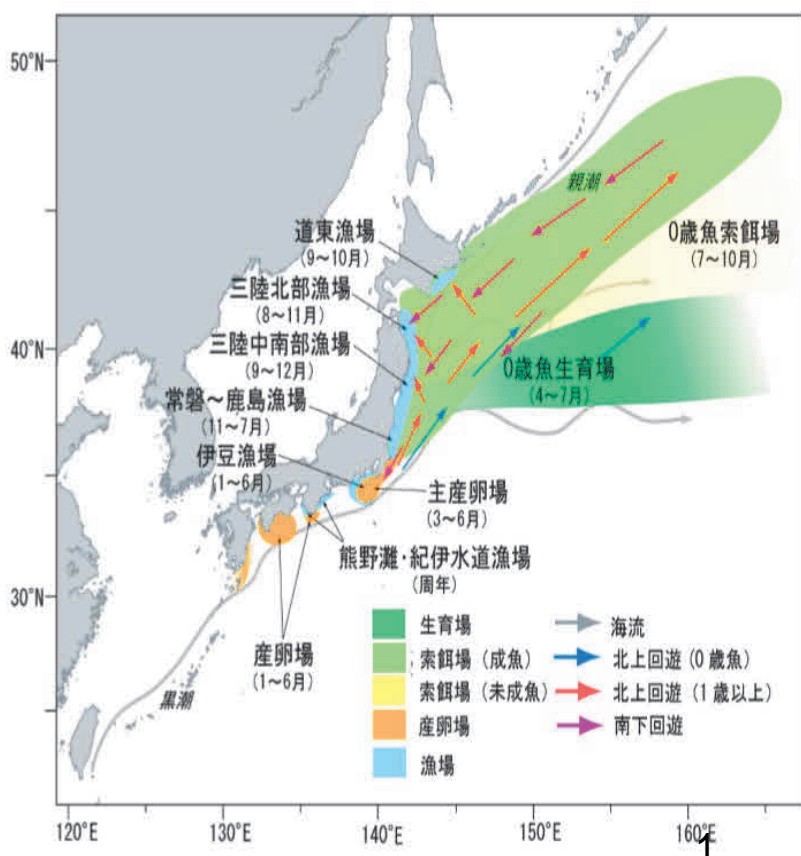




# マサバ太平洋系群 令和2年度資源評価結果

1

## マサバ太平洋系群 生物学的特性

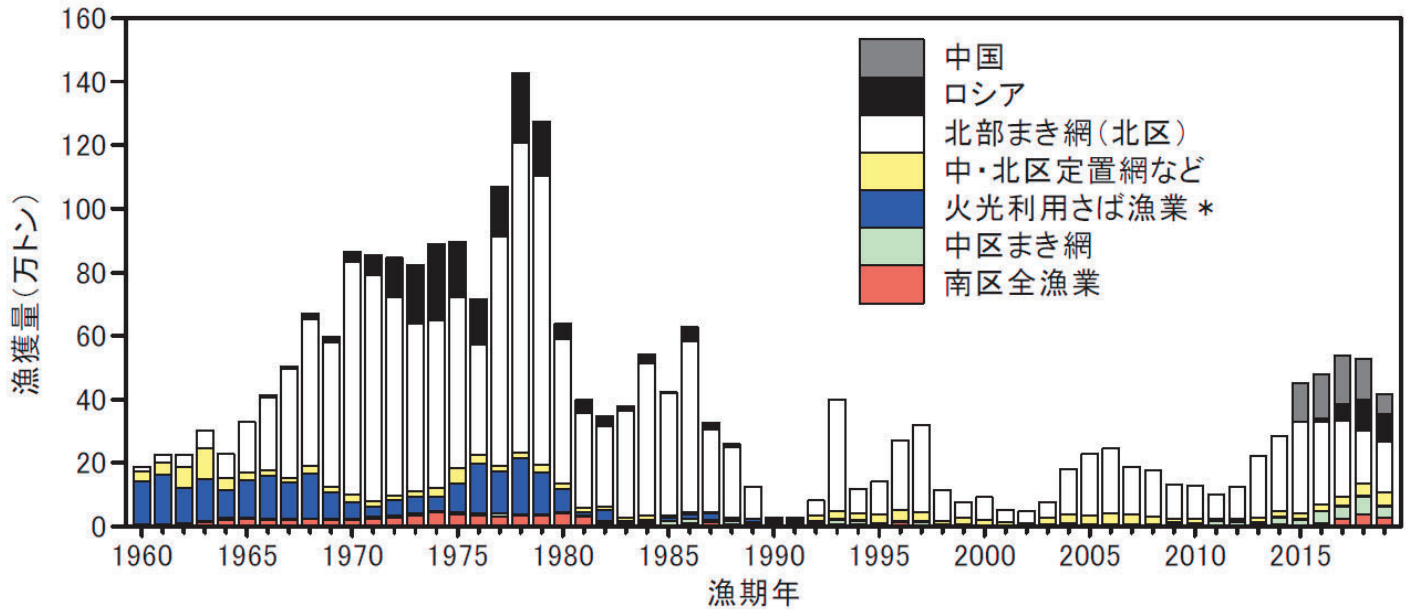


### 生物学的特性

- 寿命：7～8歳（最高11歳）
- 成熟開始年齢：1970～1975年、2015～2017年は2歳（20%）、1976～1986年は2歳（30%）、2005～2014年は2歳（50%）など、年により異なる
- 産卵期・産卵場：1～6月、主に伊豆諸島周辺海域（3～6月）、他に足摺岬、室戸岬周辺や紀南などの太平洋南部沿岸域や東北海域
- 食性：稚魚は動物プランクトン、幼魚以降はカタクチイワシなどの魚類やオキアミ類などの甲殻類、サルパ類など
- 捕食者：サメ類などの大型魚類、ミンククジラ

2

# 漁獲の動向



## ● 漁獲量

- ・1990および1991年漁期に3万トン未満に落ち込むが、2012～2017年漁期に増加。
- ・2019年漁期は41.6万トン(我が国漁獲量は26.7万トン)。

3

# 資源評価の流れ

2019年漁期までの年齢別・年別漁獲尾数、資源量指数

↓ チューニングVPA (※)、自然死亡係数Mは0.4を仮定

2019年漁期までの年齢別・年別資源尾数、年齢別・年別漁獲係数

※チューニングVPA：調査船調査結果やCPUE等の資源量指数を用いて補正したコホート解析

↓ 2020年漁期への前進計算 (※) ※前進計算：2019年漁期の漁獲量に基づき、2020年漁期の資源状況を予測

2020年漁期の年齢別資源尾数、親魚量

2020年漁期の新規加入量の仮定  
2つの加入量指標値および本系群に適用した再生産関係と親魚量から算出

↓ 2021年漁期への前進計算、2020年漁期の漁獲圧は現状のFを仮定

2021年漁期の年齢別資源尾数、親魚量

2021年漁期以降の新規加入量の仮定  
本系群に適用した再生産関係と、将来予測における年々の親魚量から算出

↓ 漁獲シナリオのもとでの将来予測 (安全係数 $\beta=0.9$ )

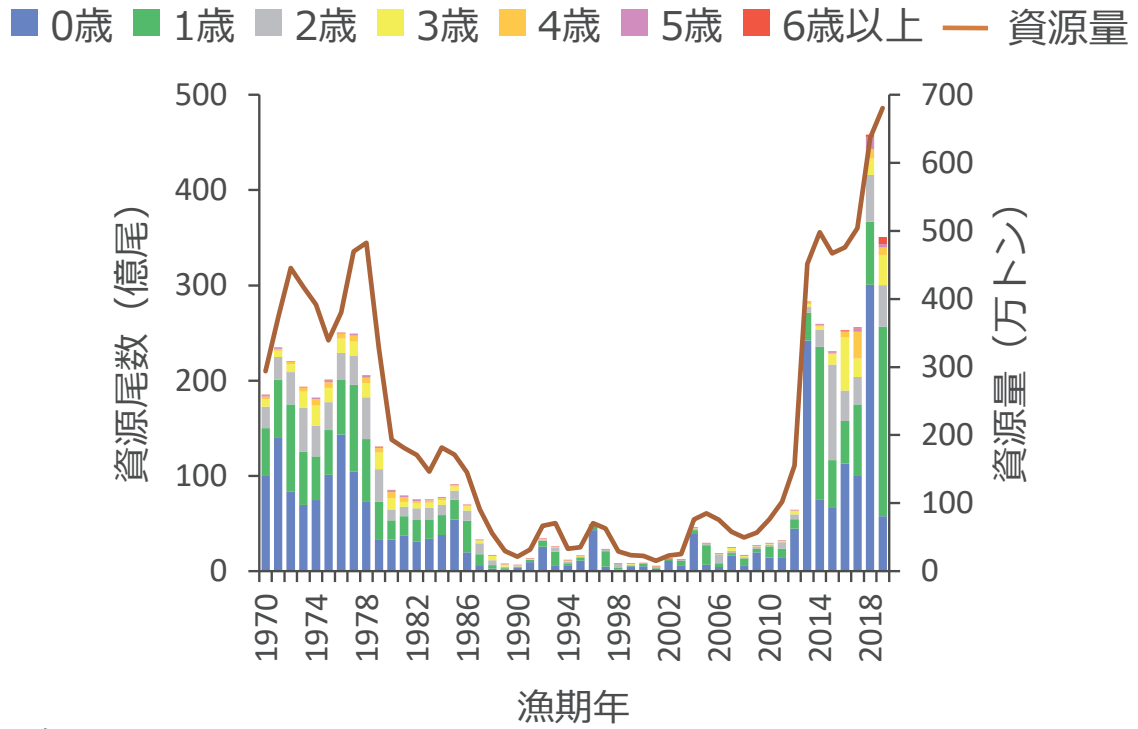
2022年漁期以降の年齢別資源尾数、親魚量、目標達成確率等の予測

2021年漁期の漁獲量  
2021年漁期の親魚量予測値から、 $\beta=0.9$ に対応して算出される漁獲量

2

4

# 資源の動向

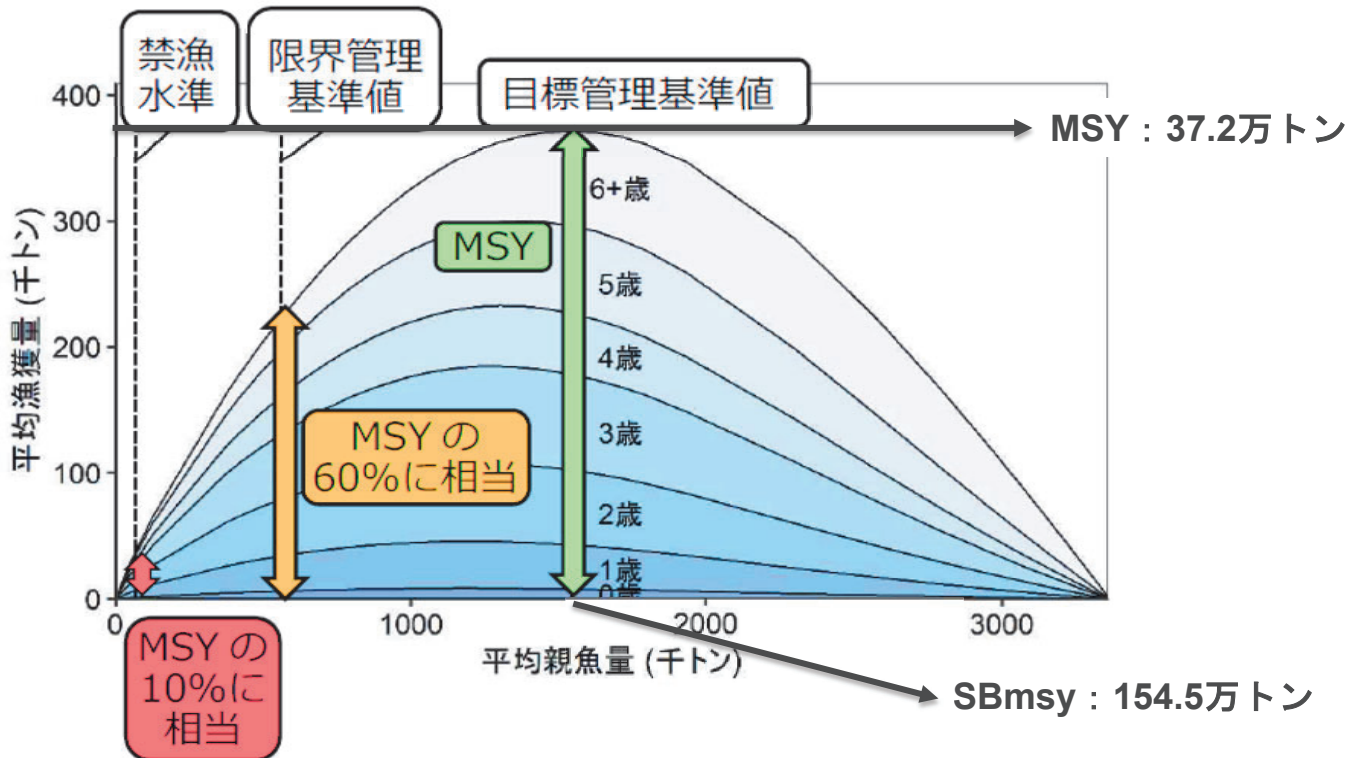


## ●資源量

- ・2013年漁期に452万トンへ急増した後、2018年漁期にも637万トンへ急増。
- ・2019年漁期は681万トン。

5

# MSY

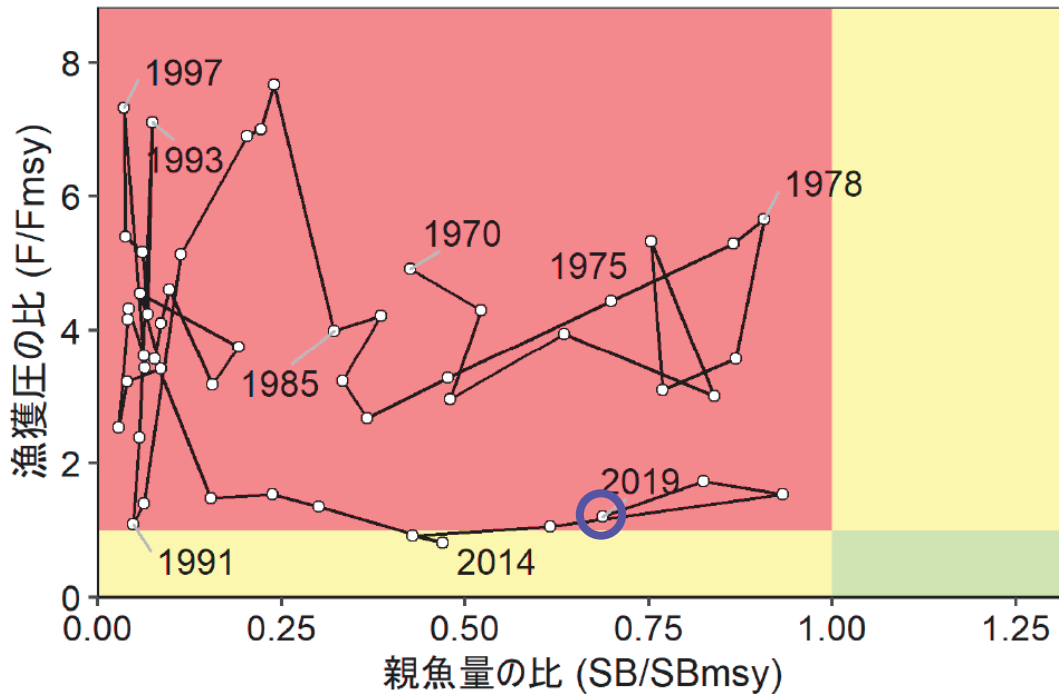


●最大持続生産量(MSY) : 37.2万トン

●MSYを実現する親魚量(SBmsy、目標管理基準値) : 154.5万トン

6

# 神戸プロット(チャート)



※神戸プロット: 資源水準と漁獲圧について、最大持続生産量を実現する水準と比較した形で過去から現在までの推移を表示したもの

- 2019年漁期の親魚量: MSYを実現する親魚量を下回っている。
- 2019年漁期の漁獲圧: MSYを実現する漁獲圧を上回っている。

7

## 将来の親魚量及び漁獲量の推移

将来の平均親魚量 (千トン)

2030年に親魚量が目標管理基準値(154.5万トン)を上回る確率

$\beta$	2019	2020	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030	2031
1.0	1,062	1,249	1,790	2,978	2,861	2,418	2,137	1,974	1,881	1,823	1,795	1,769	1,746
0.9	1,062	1,249	1,790	3,034	2,957	2,534	2,250	2,082	1,983	1,921	1,893	1,868	1,848
0.8	1,062	1,249	1,790	3,091	3,057	2,657	2,372	2,200	2,095	2,028	1,999	1,975	1,957
0.7	1,062	1,249	1,790	3,150	3,162	2,788	2,504	2,329	2,218	2,146	2,115	2,092	2,075
													48%
													52%
													57%
													62%

将来の平均漁獲量 (千トン)

$\beta$	2019	2020	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030	2031
1.0	416	693	641	627	691	571	513	474	453	439	431	423	419
0.9	416	693	582	580	650	543	490	454	433	419	413	406	402
0.8	416	693	522	530	604	511	463	429	410	397	391	385	382
0.7	416	693	462	477	552	474	432	401	383	371	365	360	357

- 「資源管理方針に関する検討会」にて取りまとめられた漁獲シナリオ( $\beta = 0.9$ )に基づき算出される2021年漁期の漁獲量は58.2万トン。

## マサバ太平洋系群の広域資源管理

## 1 資源の現状（令和2年度資源評価より）

本系群の資源量は、1970年代には300万トン以上であったが、1980～1990年代に減少し、2001年漁期には15万トンまで落ち込んだ。その後、2004年漁期の高い加入量と漁獲圧低下により増加し、2013年漁期の極めて高い加入量により2013年漁期は451万トンとなり、その後もさらに増加し2019年漁期は680万トンであった。

2019年の親魚量(SB)は106万トンであり、本系群の目標管理基準値である最大持続生産量(MSY)を実現するために必要な親魚量(SB<sub>msy</sub>)は154万トンで、2020年漁期親魚量(SB2020)はこれを下回っている。2020年漁期の漁獲圧(F)はMSYを実現する漁獲圧(F<sub>msy</sub>)を上回っている。親魚量の動向は近年5年間(2015～2019年漁期)の推移から増加と判断される。

## 2 関係漁業種類

- (1) 大臣許可漁業 大中型まき網漁業  
(2) 知事許可漁業等

県名	対象漁業種類
千葉県	火光利用サバ漁業（サバたもすくい） 敷網漁業（サバ棒受網） 中型まき網漁業 定置網漁業
神奈川県	（サバ釣り漁業）※1 （サバたもすくい漁業）※2 定置網漁業
静岡県	サバすくい漁業 棒受網漁業 中型まき網漁業 定置網漁業

※1 同県内では自由漁業 ※2 他都県の許可漁業

## 3 資源管理の方向性

まさば太平洋系群の資源管理については、資源管理基本方針（農林水産省告示第1982号）で定められた、本系群の資源管理の目標の達成を目指すことを基本とする。そのため、令和元年（2019年）の資源評価に基づき、親魚量が令和12年（2030年）に、少なくとも50%の確率で目標管理基準値（最大持続生産量を達成するために必要な親魚量(SB<sub>msy</sub>)154万トン）を上回るように、漁獲圧力を調節し、資源評価において示される管理年度の資源量に、当該漁獲圧を乗じて設定される漁獲可能量による管理を行い、MSYを実現できる資源量の水準への回復を図る。

なお、まさば及びごまさばは、同時に漁獲され、魚種別に、即座に正確な仕分けを行うことが困難であることから、まさば太平洋系群及びごまさば太平洋系群の管理に関しては、両魚種の生物学的漁獲量の合計値の範囲内で一括して行うこととしている。

また、漁獲可能量による管理に加え、本系群の資源管理の目標の達成を目指す中で、漁業者自身による自主的な資源管理の取組は、毎年変動する資源の来遊状況や漁業の実態に即した管理手法として引き続き重要である。

このため、資源管理の方向性として、公的規制のほか、資源管理協定等に基づき、漁業者自身による自主的管理を併せて行う。

## 4 関係者による連携

必要に応じて、行政・研究担当者会議及び漁業者協議会を通じて、資源状況や漁獲状況の把握、資源管理措置の確実な実施を図り、管理方策の改善を検討する。

## マサバ太平洋系群の広域資源管理の取組状況

### 1 大中型まき網漁業の自主的管理措置とその取組状況

(1) 資源管理計画における自主的管理措置  
年間60日以上の休漁を実施している。

(2) その他に取り組む資源管理措置

北部太平洋海区資源管理計画管理委員会が定めた「マサバ太平洋系群管理方策」に基づき、マサバの漁獲量が一定量を超えた場合に臨時休漁等を実施している。

(臨時休漁実績)

年度	休漁日数	休漁統日数 (a)	操業統日数 (b)	削減率 (a/(a+b))
2006漁期(7-6月)	24日	755 統日	1,898統日	28%
2007漁期(7-6月)	31日	883 統日	2,289統日	28%
2008漁期(7-6月)	33日	933 統日	1,964統日	32%
2009漁期(7-6月)	31日	970 統日	1,611統日	38%
2010漁期(7-6月)	26日	843 統日	1,291統日	40%
2011漁期(7-6月)	25日	743 統日	1,474統日	34%
2012漁期(7-6月)	10日	217 統日	1,742統日	11%
2013漁期(7-6月)	22日	583 統日	2,262統日	20%
2014漁期(7-6月)	32日	791 統日	2,116統日	27%
2015漁期(7-6月)	58日	1,425 統日	2,470統日	37%
2016漁期(7-6月)	71日	1,517 統日	2,315統日	40%
2017漁期(7-6月)	69日	795 統日	2,032統日	28%
2018漁期(7-6月)	27日	811 統日	2,325統日	26%
2019漁期(7-6月)	30日	868 統日	2,104統日	29%
2020漁期(7-6月)	19日	503 統日	2,549統日	16%

2 各県関係漁業（中型まき網漁業、サバたもすくい網漁業等）の自主的管理措置とその取組状況

対象漁業種類	都県名	管理措置	内 容 等
火光利用サバ漁業（サバたもすくい）及び敷網漁業（サバ棒受網）	千 葉	休漁	毎週金曜日
サバ釣り漁業	神奈川県 (みうら漁協)	休漁日の設定	6～8月 毎週土 9～5月 毎週土及び毎月 第2・第4火曜
		操業時間規制	5～9月 投錨5時30分、 操業終了15時 10～4月 投錨6時、 操業終了15時
サバたもすくい	神奈川県	休漁日の設定	毎週金曜日
サバスくい網漁業及び棒受網漁業	静 岡	操業日数制限	1か月間の操業日数20日間以内
中型まき網漁業	静 岡 (根拠地：伊豆東部)	休漁	連続した14日間の係船休漁（6月、 11月～翌年5月）及び月3日の定期休漁
	(根拠地：駿河湾内)		月4日の定期休漁